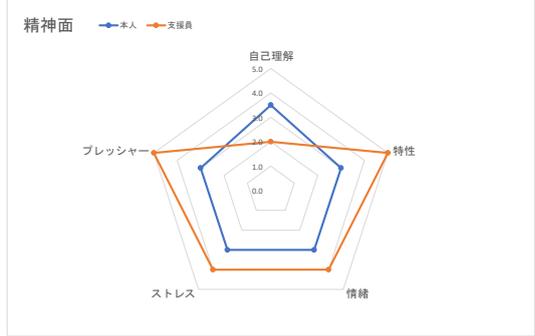
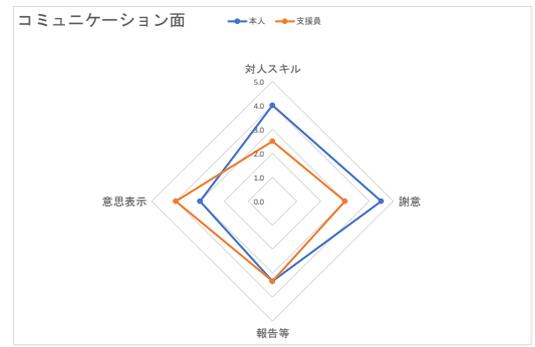
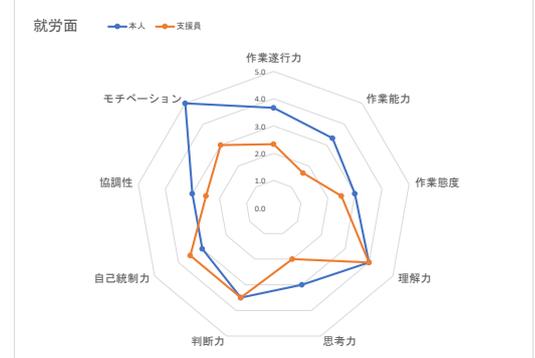
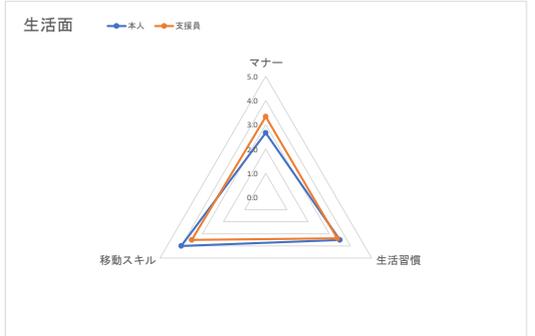


働く力準備アセスメントシート

名前 ()

担当者 ()

大項目	小項目	番号	具体的項目	本人	支援員	本人	支援員	分類	Ave	Ave
生活面における評価	言葉づかい	1	相手や場に応じた適切な言葉づかいがある。	3	2	マナー			2.7	3.3
	ふるまい	2	礼儀正しく、周りに不快な印象を与えない。	1	5					
	規範意識	3	集団のきまりがわかり、守ることができる。	4	3					
	身だしなみ	4	仕事や活動に適した、清潔な服装・身支度ができる。	4	3	生活習慣			3.5	3.4
		5	場にあった服装ができる。	5	3					
	衛生管理	6	衛生面に気を配ることができる。	3	4					
	健康管理	7	体調の不良を訴えることができる。	2	3					
		8	健康面に気を配ることができる。	3	4					
	生活リズム	9	規則正しい生活ができています。	2	5					
	家事	10	家庭で決まった家事に取り組んでいる。	4	3	移動スキル			4.0	3.5
	金銭管理	11	お金を大切に使うことができる。	5	2					
	自転車の利用	12	交通ルールがわかり安全に自転車で移動することができる。	3	4					
	公共交通機関の利用	13	交通機関を使った移動ができる。	5	3					
就労面における評価	気力	14	1日に6時間以上作業を継続できる気力がある。	3	2	作業遂行力			3.7	2.3
	体力	15	1日に6時間以上作業を継続できる体力がある。	4	2					
	集中力	16	集中して作業(活動・学習)に取り組める。	4	3					
	巧緻性	17	手先が器用で細かい作業ができる。	3	1	作業能力			3.3	1.7
	正確性	18	正確な作業ができる。	4	2					
	能率性	19	慣れると作業スピードが上がる。	3	2	作業態度			3.0	2.5
	積極性	20	積極的に作業できる。	3	3					
	責任感	21	与えられた仕事を最後までやり遂げることができる。	3	2	理解力			4.0	4.0
	指示の理解	22	作業の指示が理解できる。	3	4					
	工程理解	23	作業の手順や工程が理解できる。	5	4	思考力			3.0	2.0
	見通し	24	自分で見通しを立てながら作業できる。	3	2					
	状況判断	25	自分で工夫しながら作業できる。	2	4	判断力			3.5	3.5
	危険認知	26	危険を予見し、回避しながら作業できる。	5	3					
	感情のコントロール	27	無視・反発・拒否せず指示や注意を冷静に受け入れることができる。	3	4	自己統制力			3.0	3.5
	自己管理	28	人に見られてなくても作業できる。	3	3					
	他者理解	29	人の気持ちや理解できる。	2	3	協調性			3.0	2.5
	協力・協働	30	人と協力して作業できる。	4	2					
意欲	31	働く理由、動機がはっきりしているか、働きたいと思っている。	5	3	モチベーション			5.0	3.0	
コミュニケーション面における評価	あいさつ	32	自分からあいさつすることができる。	5	3	対人スキル			4.0	2.5
	返事	33	(呼名時・質問応答時等)必要な返事ができる。	3	2					
	謝罪	34	自分から失敗を謝ることができる。	4	2	謝意			4.5	3.0
	お礼	35	自分から相手に感謝の気持ちを伝えることができる。	5	4					
	報告	36	自分から報告できる。	4	3	報告等			3.3	3.3
	質問	37	自分から質問できる。	3	5					
	説明	38	分かりやすく説明できる。	3	2					
	意思表明	39	自分の意思や気持ちを伝えることができる。	3	4	意思表示			3.0	4.0
おける評価(準備面)	作業能力の認知	40	自分の作業能力を認知している。	4	2	自己理解			3.5	2.0
	障がいの認知	41	自分の障がいやその特性(病状)を理解している。	3	2					
	こだわり	42	特定の物や人、やり方にこだわらない。	3	5	特性			3.0	5.0
	情緒の安定	43	情緒が安定している。	3	4					
	耐ストレス性	44	ストレス(身体的・精神的)に強い。	3	4	ストレス			3.0	4.0
	耐プレッシャー性	45	プレッシャーに強い。	3	5					



分析結果

項目ごとの考察

1. 生活面 (番号1~13)

本人の自己評価と支援員の評価には項目ごとに大きな差が見られます。「ふるまい」では本人が低評価(1)ですが、支援員は高く評価しており(5)、本人の自信不足が課題となっています。一方で、「金銭管理」では本人が高評価(5)で支援員は低評価(2)と逆の傾向が見られ、実際の行動に基づく具体的な支援が必要です。また、「生活リズム」や「健康管理」においては、本人が自己評価を低くしているため、スケジュールや健康管理を見直し、成功体験を共有することで自己評価を引き上げる取り組みが有効です。

2. 就労面 (番号14~31)

就労に関する項目では、特に「気力」「体力」「巧緻性」などで本人の自己評価が支援員の評価を上回っている点が目立ちます。支援員は作業の継続性や正確性、器用さに課題を感じており、これらの能力を段階的に向上させるための訓練が必要です。また、「指示の理解」や「状況判断」では支援員が本人の能力を高く評価していますが、本人がその能力に自信を持っていないため、手順の確認や進捗状況を共有しながら本人の自己認識を改善する支援が求められます。

3. コミュニケーション (番号32~39)

コミュニケーションスキルに関しては、全体的に本人の評価と支援員の評価が近い項目が多いものの、「質問」や「説明」などは支援員の評価が高い(5)一方で、本人は低めの評価(3)をしています。このことから、支援員が評価するスキルを本人が認識できていない可能性があります。これを改善するためには、練習の機会を増やし、適切なタイミングでのフィードバックを行い、スキルを確実に体得させることが重要です。

4. 精神面 (番号40~45)

精神面では、自己評価と支援員の評価が比較的近い項目が多いものの、「こだわり」では支援員が高評価(5)で本人は低評価(3)とギャップが見られます。支援員は本人の柔軟性を評価しており、この点を本人に伝えることで自己肯定感を育むことができます。また、「情緒の安定」や「耐ストレス性」については、支援員が安定していると感じている一方、本人は自信がないため、ストレス管理法の指導や情緒の安定を意図した支援を提供する必要があります。

総合支援の提案 (200文字程度)

本人の自己評価と支援員の評価のギャップを埋めるため、フィードバックや振り返りを定期的に行い、具体的な成功事例を共有します。生活面ではスケジュール管理や金銭管理の実践的訓練を行い、就労面では短時間作業やタスク分割の導入を通じて継続性と正確性の向上を図ります。コミュニケーションスキルについては練習機会を増やし、精神面ではストレス管理法や情緒安定のための具体的な支援を提供。本人の能力を引き出し、自己肯定感を高める支援を展開します。